

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議【報告書】			
会議名	阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議		
開催日時	令和6年6月19日(水) 14:00~15:00	開催場所	阿南医療センター 2階講堂
		報告者	湯浅
議題	・阿南市地域共生推進課長挨拶 ・阿南医療センター挨拶 ・新規委員紹介 ①本会について事務局から説明	②意見交換会 ③各種課題に対する議論について ④その他	

議題①		本会について事務局から説明	
検討した項目	①令和6年度 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の開催意義、開催内容及び開催日時の確認。 ②阿南市在宅医療・介護連携支援センターの第9期介護保険計画に伴う事業運営の説明。		
検討内容	①会議体の意義、委員の役割、開催日時、開催方法。 ②第9期介護保険計画の説明。		
結論	①「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」を図るため、様々な会議体での意見等に多職種で議論を行い、解決策を見出す。 ≪会議開催について≫ 開催日時:年3回(開催予定日:R6.6.19、R6.9.11、R6.12.18)、各14時～15時、開催場所は阿南医療センター2階講堂。 ②阿南市在宅医療・介護連携支援センターの組織体制を理解することで委員の役割の共通認識が図れた。		
残された課題			
備考			

議題②	意見交換
検討した項目	①ケアカフェについて ②ACP研修 ③市民公開講座 議題③
検討内容	①②③開催日・開催内容について 議題③
結論	①・開催予定日：年3回(R6.8.21、R6.11.20、R7.2.19)、定員最大60名。 ・委員より病院・福祉施設の見学ツアー、阿南市の防災連携についての意見があった。(防災については第2回目に実施予定で阿南市危機管理課、阿南消防署との連携に具体的議題を出して行う。) 第1回は県南の中核病院である阿南医療センターの見学及び地域連携室との連携強化について講義を行うことで決定。事前に阿南医療センターの何を知らたいかの把握を行い、実施。対象者は、医療・福祉事業所の従事者に案内を行う。 ②開催は8月に医療・介護従事者向け、12月に市民向けで行う。 内容は「もしもの時」のためにと「たまたま箱」を用いて行う。 講師はACP講師研修受講者と阿南高齢者お世話センター社会福祉士部会が務める。 ③市民公開講座 昨年度、出前型に変更して開催したところ好評であったため、今年度以降も出前型で開催する。地域ニーズに合った講義ができるよう、阿南高齢者お世話センターと連携しながら取り組んでいく。
残された課題	①・医療・介護従事者より、見学ツアーで求める内容の把握。 ・第2回ケアカフェ(防災)について、次回ワーキンググループで具体的内容を協議する。
備考	

議題③	各種課題に対する議論について
検討した項目	サービス事業所代表者会よりの意見協議
検討内容	身寄りが無い方の対応について
結論	①身寄りのない方で意思表示ができない方が救急搬送で医療の判断対応について ・基本的には2018年に厚生労働省が策定しているガイドラインで対応している。 ・阿南市は田舎であり全く身寄りが無い方のケースは無いが、今後は増加が見込まれるため連携が必要。 ・どうしても身寄りが無い方について困ったときの対応として、阿南市地域共生推進課との連携を行う。 ②施設入所者の救急搬送時の施設職員の対応について ・緊急搬送時、夜間時対応で施設職員が受診終了まで付き添わなくても良いケースもあるので、その場合は病院へ相談すれば対応できる。 ③死後の対応について 身寄りが無い方の病院、施設の死亡者対応としての事務について ・生活保護者は阿南市生活福祉課が対応 ・生活保護を受けてない方も火葬に対して警察等との連携も必要なので阿南市生活福祉課へ連絡すれば連携して対応する。(24時間対応している) ・身寄りはいるが判断拒否するケースも増えており、友人・知人等が保証人となり決定するケースもある。
残された課題	①②対応について、病院によっては違った対応ケースもあるので阿南市内の入院医療機関の現状と意見の集約を行う。
備考	

議題④	その他
検討した項目	①リーフレットについて ②研修案内について
検討内容	①阿南市在宅医療・介護連携支援センターのリーフレット改善説明 ②阿南医療センターからの研修案内
結論	①QRコードを2種類(HP・Youtube)掲載することで市民及び医療・介護従事者にも幅広く周知できる。 ②研修案内があれば広報し、医療・介護従事者の資質向上に繋げる。
残された課題	
備考	

【会議風景写真】

